

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022年2月28日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
「共生（ともいき）」の精神の下、エネルギーを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
エネルギーの地産地消			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
			昨年、全社員への運動習慣の定着および健康意識向上を目的としたイベントを継続的に実施し、健康経営優良法人「ホワイト500」に3年連続3回目の認定を受けた。引き続き社員の健康維持・向上やワークライフバランスの実現を推進し、ホワイト500認定の継続を目指す。
	新型コロナウイルス感染拡大防止により、従来の見学ルート・プログラムが変更となる為、感染拡大防止に最大限配慮した形で、静岡市エネルギーの地産地消に関する説明を継続的に実施する。	沼上清掃工場及びしずもーる沼上内の見学コース上に掲出した事業説明パネルを用い、2021年の見学者約5,000人に対する周知を実施した。	引き続き感染拡大防止に最大限配慮した形で、静岡市エネルギーの地産地消に関する説明を継続的に実施する。
	引き続き市民の卒FIT電力や市内事業者からの買取を進め、更なる地産率向上を目指す。	直近1年間の平均で静岡市有施設のエネルギー地産率59.06%を達成した。	引き続き市民の卒FIT電力や市内事業者からの買取を進め、更なる地産率向上を目指す。
	引き続き太陽システムやZEHの普及に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用に関する商材を開発していく。	太陽光発電システム無償設置サービス（0円ソーラー）及びZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）モデルハウスの見学会等により、再生可能エネルギー活用への取り組みを推進した。	引き続きPPAモデルを含めた太陽光システムやZEHの普及に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用に関する商材を開発していく。
	紙面・動画等の代替手段を用いて、災害時の蓄電池活用方法のレクチャーを継続する。	静岡市職員向けの業務用ネットワーク内にマニュアルを配備し、閲覧可能な環境を構築した。	配備したマニュアルを基に、感染拡大防止に最大限配慮した形で、現地での活用方法のレクチャーを行う。
	引き続き市内の地産電源の獲得に努め、更なる地産率向上を目指す。	自社及び卒FITを除く協力企業から、静岡市内の再生可能エネルギー発電設備由来の電力を6施設834kWh調達し、静岡市有施設に供給することで、地産地消に貢献した。	引き続き市内の地産電源の獲得に努め、更なる地産率向上を目指す。
	静岡市葵区井川地区において、引き続き、約30～45haの森林整備を実施する。（事業期間2018～2020年度）	森林アドプト事業に協賛。事業内容は、静岡市葵区井川地区において、2018～2020年度にかけ、約34haの森林整備を実施し、間伐材を活用した積み木を静岡市内こども園等へ寄贈した。	森林アドプト事業への協賛を継続し、森林整備へ貢献していく。事業内容は、静岡市葵区清沢地区において、引き続き、約36～39haの森林整備を実施する。（事業期間2021～2023年度）
	引き続き広報・啓発活動を行い、取り組みに賛同頂ける市民からの買取を推進していく。	静岡市広報12月号に掲載、2021年末時点で累計210件の申し込みを頂いた。	引き続き広報・啓発活動を行い、取り組みに賛同頂ける市民からの買取を推進していく。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。